

令和3年度 厚生労働科学研究費補助金(認知症政策研究事業)

併存疾患に注目した認知症重症化予防のための研究

分担研究報告書

「認知症者の併存疾患管理の手引き」作成のための検索・・・認知症ガイドライン

研究分担者 亀山祐美 東京大学医学部附属病院 老年病科

#### 研究要旨

認知症に関する国内外のガイドラインの調査を行い、「認知症と併存疾患、入院、検査、治療」という word で検索した論文から認知症が入院や検査治療に与える影響についての指針を作成するための論文を抽出した。

#### A. 研究目的

認知症患者の併存疾患の検査や治療は、非認知症患者と比べて、思うように進まない、過少治療、過大治療ではないかと不安に思いながら診療している。現段階で、どのようなエビデンスがあるか下記のポイントで文献検索及びガイドラインが整備されているかまとめることを目的とした。

1 疾患 A と認知症は関係するか？

疾患 A が認知症に影響するか、疾患 A が認知症の進行の危険因子になりそうか。

死亡、要介護(disability)、転倒、入院、せん妄、施設入所、QOL 低下への関係はどうか。

2 認知症に疾患 A が併存する場合、疾患 A の治療で注意すべき点は何か？

3 認知症に疾患 A が併存する場合、認知症の治療(薬物療法・非薬物療法)で注意すべき点は何か？

#### B. 研究方法

Pubmed で 2021 年 11 月 15 日までの 10 年間の文献を検索した。国内外の認知症に関するガイドラインをインターネットで検索した。

#### C. 研究結果

認知症疾患診療ガイドライン 2017

特発性正常圧水頭症診療ガイドライン

非がん疾患のエンドオブライフ・ケア

(EOLC)に関するガイドライン 2021 年

(認知症ケアガイドブック)

認知症に関する脳脊髄液・血液バイオマーカーの適正使用指針

かかりつけ医のための BPSD に対応する向精神薬使用ガイドライン

認知症の人への歯科治療ガイドライン

海外の認知症予防等ガイドラインの整理に関する調査研究事業 報告書を精読した。併存疾患に関する記載は、糖尿病、高血圧以外はなかった。

#### D. 考察

認知症患者の併存疾患に関するエビデンスは確立されていない。

#### E. 結論

今後、本研究で、エビデンスの確率を目指し、症例登録を行ってゆく。

## F. 健康危険情報

該当なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

Yamada Y, Kojima T, Umeda-Kameyama Y,  
Ogawa S, Eto M , Masahiro Akishita.  
Outcomes of anticoagulant prescribing for  
older patients with atrial fibrillation depends  
on disability level provided by long-term care  
insurance. Arch Gerontol Geriatr. Sep-Oct  
2021;96:104434.

### 2. 学会発表

・亀山祐美(シンポジウム)AI は超高齢者社  
会を救うか。高齢者医療でのAI の可能性、  
第 32 回日本老年学会

・亀山祐美(シンポジウム)医療現場におけ  
る化粧療法医学の必要性 第 59 回日本癌  
治療学会

・Yumi Kameyama, Masashi Kameyama,  
Masahiro Akishita ” Symposium AI and  
Cognitive Disorders Screening of dementia  
by facial complexion using artificial  
intelligence.” Regional IPA/JPS Meeting  
and the 36th Annual Meeting of Japanese 東  
京 web 2021.9.16-18

## H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

### 1. 特許取得

### 2. 実用新案登録

3.その他 すべて該当なし